

クラッシー

CLASSY

発行 筑後八女地区 西日本新聞エリアセンター
 企画 イースタンコミュニケーションズ
 印刷 東兄弟印刷所 TEL 0943-24-2111
 八女市祈祷院563
 HP: www.wing8.com/dcity-yame/

7 JUL

CALENDAR 2010

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

心配ごと相談 (八女市) 八女市社会福祉会館 7月7日・21日 黒木町ふじの里 7月7日・21日 上陽町地域福祉センター 7月14日・28日 立花町かがやき 7月14日・28日 法律相談 (要予約) 八女市社会福祉会館 7月9日 黒木町ふじの里 7月16日 上陽町地域福祉センター 7月23日 司法書士相談 黒木町ふじの里 7月9日 八女市社会福祉会館 7月16日 筑後市 心配ごと相談 毎週木曜日/総合福祉センター 健康に関する総合相談 毎週金曜日/筑後市立病院	1 5月20日 ね赤口中 ちっこプレミアム商品券発売開始	2 21日 うし先勝中 なんでも人権相談所 (八女市社会福祉会館)	3 22日 とら友引小 人生史サークル黄楯の会 (八女市社会福祉会館)
--	---	--	--

4 23日 う先負 小 松尾弁財天縁日 (立花町)	5 24日 たつ仏滅 小 松尾弁財天縁日 (立花町)	6 25日 み大安 長 松尾弁財天縁日 (立花町)	7 26日 うま赤口 若 松尾弁財天縁日 (立花町)	8 27日 ひつじ先勝 中 べんがらの日 (べんがら村)	9 28日 さる友引 中 なんでも人権相談所 (黒木地域交流センター)	10 29日 とり先負 大 共に生きる社会セミナー 13:00~ (紫雲英の郷)
--	---	--	---	---	--	---

11 30日 いぬ仏滅 大 早朝黒木ウオーク (八女歩こう会) 世界一親子で受けたい授業 12:00~ (黒木ふじの里)	12 6月1日 い赤口 大 ちくごまるごとクッキング (サンコア)	13 2日 ね先勝 大 ちくごまるごとクッキング (サンコア)	14 3日 うし友引 中 なんでも人権相談所 (立花市民センター) (筑後市サンコア)	15 4日 とら先負 中 なんでも人権相談所 (広川町はなやぎの里)	16 5日 う仏滅 中 定例法律相談会 (要予約) 10:00~12:00 (八女商工会議所) ☎22-5161	17 6日 たつ大安 中 八女市・人権のまちづくり市民の集い 講師/高山文彦氏 (八女文化会館)
--	--	--	--	---	---	---

18 7日 み赤口 小 海の日	19 8日 うま先勝 小 海の日	20 9日 ひつじ友引 小 海の日	21 10日 さる先負 長 社会保険個別相談会 10:00~15:00 (八女商工会議所)	22 11日 とり仏滅 若 八女市・人権のまちづくり市民の集い 講師/野上早苗氏 (八女市立花隣保館)	23 12日 いぬ大安 中 八女市・人権のまちづくり市民の集い 講師/野上早苗氏 (八女市立花隣保館)	24 13日 い赤口 中 八女市・人権のまちづくり市民の集い 講師/野上早苗氏 (八女市立花隣保館)
------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--	--	--	---

25 14日 ね先勝 大 滝の宮不動尊縁日 (上陽町)	26 15日 うし友引 大 親子やきもの教室 筑後市内小・中学生と保護者(サンコア) 八女市・人権のまちづくり市民の集い 講師/上杉聰氏 (八女市黒木開発センター) お風呂の日 (三加和温泉) (グリーンピア八女) (温泉館きらら)	27 16日 とら先負 大 お風呂の日 (べんがら村)	28 17日 う仏滅 大 不動産に関する何でも相談会 13:00~15:00 (八女商工会議所)	29 18日 たつ大安 中 不動産に関する何でも相談会 13:00~15:00 (八女商工会議所)	30 19日 み赤口 中 不動産に関する何でも相談会 13:00~15:00 (八女商工会議所)	31 20日 うま先勝 中 不動産に関する何でも相談会 13:00~15:00 (八女商工会議所)
--	---	--	---	--	---	--

梅雨晴れて、夏、七月。川のほとりに淡紅の花をつけるネムの樹々。あえかな夢をともしたような色あい。夏休みも、もうすぐだと胸おどろかせた少年の目がよみがえる。そして、あの唱歌、ささのは、さらさら、のきばにゆれる。芋の葉にころぶ露の玉を掬いとつて、硯に墨をすり、ムニヤムニヤなんとかきと、かなわぬ願いごとを書いた短冊。古式ゆたかな家族行事、少年老いやすくの感慨。

▼さて、去る日に忘れがたきメモは―五月三十日。鳥栖から長崎線に乗りかえ、諫早へ。第30回作家野呂邦暢を偲ぶ菖蒲忌。午前の碑前行事の司会進行は高校生たち。この先輩作家顕彰に在校生徒たちが関わり、この方式には薫風の如き爽やかさを感じた。彼の代表作『諫早菖蒲日記』は若人が読むにふさわしい郷土愛、躍動感あふれる内容である。午後の懇談の宴で、『古本病のかかり方』という本の筆者岡崎武志さんと親しく語りあえたのは嬉しかった。これまた文通のみで、初対面。野呂さんの随筆集に、実に懇切な解説の筆者。▼六月十三日。村の公民館で『いのちの山河』上映会。豪雪、多病、貧困の三重苦から笑顔あふれる村へ。岩手県沢内の深沢村長奮闘の事実ドラマ。呼かけ人に推挙された、前売券売りに一苦勞。この春、来村の医師吉永先生は登場を願ったプランで、行政のトップにある市長、市議のセンセイ方に、まず鑑賞を願いたい映画。

天宮さまより
 かなわぬ願ひも
 七夕さまへ
 椎窓 猛